



か え で ゆ う び ん 9月号



2023年9月1日
 社会福祉法人 清松学園
 幼保連携型認定こども園
 か え で 保 育 園
 園 長 引地 美津代

立秋を迎えるとあっという間に日が短くなり、日中の暑さが、夕方には心地の良い風に変わってきました。

皆さんは「24 節気」という言葉をご存じですか？

中国からの由来で四季・気候などの視点で地球上の一年を仕分ける方法があり、春夏秋冬の季節を細かく分類され12の「節気」と12の「中気」で季節を表す名前が付けられています。夏至は日照が最も長く、冬至は最も短いなど1年の巡りが見事に分けられています。ですが日本の良さは四季を感じられる国であるはずですが、最近は四季を感じる事が難しくなってきました。今年も10月後半まで暑い日が続くとか・・・海水温が高すぎることで熱帯低気圧がすぐに台風に変化してしまうなど、今までの言い伝えが崩れてきています。

上手に天候と付き合いながら心地の良い「秋」を感じていながら、折に触れて季節の節目を意識できる「24 節気」のことも伝えていきたいです。

今年は園庭の真ん中の「田んぼ」に植えた「コシヒカリ」も実ってきました。かえで保育園の園庭では草木の育つ環境が年月かけて耕してきた事で、良い土壌に整ってきました。

トウモロコシ・パプリカ・
 そしてなすび・トマト・ゴーヤ等々。



卒園生から頂いた「温州ミカン」も実がなっています。

これからも子どもたちと進める食育活動で、育てる➡食べる➡種を取る➡植える「循環」を楽しみながら食欲の秋・収穫の秋へつなげていきたいと思います。

夏の間、中・高校生の卒園生が『お帰り day』で園の戻ってきてくれました。コロナ禍で休止していたお手伝い保育もリニューアルしてまた新たにお知らせをしましたが、部活やイベントを調整してたくさんの卒園生が丁寧に園児さんのお世話をしてくれたり、力仕事をしてくれたりする姿を見ながら逞しく大きくなってくれたことに出会え、この仕事を続けてこれたことに感謝する毎日でした。

昼までしかいられない・・・と言っていた中学1年生の男児たちも「折角来てくれたんだからもう少しいてほしいな」というと「いいよ～」と即答してくれ、めばえの子どもたちの部屋に真っ先にお手伝いに行ってくれました。『おかえり day』から帰宅し「僕、保育士になろうかな～」と家族に話してくれたといううれしい報告をお母様から頂きました。

また、来年も是非来てくださいね。ありがとう。

おねがい

・登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の工作がお休みの場合は家庭保育をまた休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。

・9月大学生の実習の受け入れを行います。
 ＊関西学院大学 4名（1日～12日）

おしらせ

9月5日（火）9：00～

西宮市私立保育協会主催で「公開保育園」として西宮の民間の保育士さんが保育実践を学びに来られます。

9月の予定

- ・敬老週間（園児の祖父母さんが来られます）
 9月20日（水）～ 10月4日（水）（土曜日、日曜日は除きます）
 時 間： 15：15 ～ 16：15
 ※ 入館の際は保護者名札を着用ください
- ・ 11日（月）月例健診
- ・ 19日（火）子育て支援事業 ～音とあそぼう～
- ・ 19日（火）西宮市つながり事業での公開保育（15：00～16：30）
- ・ 21日（木）保健師による巡回
- ・ 25日（月）消防署立ち合いの訓練
- ・ 26日（火）誕生会
 18：00～ 職員園内研修
- ・ 30日（土）カブラで遊ぼう（ダンディタイム）
 ＊配布紙で事前申し込みください

- ・ 6、22日（水・金）絵画
- ・ 7、14、21、28日 体操

10月の予定

- ・ 10月14日（土） だいちぼうけんの日
 （だいちの組が朝から楽しめます。
 めばえ～ひかりぐみは家庭保育に協力お願いします）

先生のメッセージ

学生の頃は苦いものが苦手で、甘いカフェオレしか飲めなかったのですが、最近ようやくコーヒーのおいしさを知ることが出来ました。

ノンシュガーのラテやブラックが美味しく飲めるようになったことで、甘いケーキやお菓子に合わせるバリエーションが増えて嬉しくなっています。

甘いものと甘い飲みも素敵ですが、甘いものと苦みのあるものを組み合わせると、お互いのいいところを引き出し合って高めてくれるように感じます。

そして、食べ物の組み合わせだけでなく人間関係でも同じ部分もあるな、とふと思いました。私自身、似た物同士で過ごす事が多いですが、違う考え方や見方・重要視するポイントやこだわりなど、凸凹の組み合わせでしか起きない相互作用や新しい発見も大切にしたいと思います。

保育教諭 T

「 ドリーちゃん・今までありがとう 」

卒園生から頂いた熱帯魚のドリーちゃんが天国に旅立ちました。

皆でお別れをし、だいちさんが考えてくれた場所にお墓を作りました。

つぼみ組からお花を飾ってくれています。



メッセージ



今年も夏の高校野球盛り上がりましたね。
高校野球の夏の大会が始まると、幼い頃、父と毎年のように観戦に出かけたことを思い出します。
野球を見ることより、冷たいものを母や姉に内緒で買ってもらうことが何よりの楽しみでした。
最近ではわが子よりもすいぶん年下の球児をテレビで見ると、どこかを応援することよりも
一人ひとりの頑張りに拍手したくなります。
みなさん夏の思い出や楽しみはどんなことがありましたか？
園内では夏の遊びを子どもがやってみたいことを応援する形で遊びが広がっていきました。
暑さを感じながら汗をかき、水を使った遊びでは涼しさも時折感じました。ホースをつなげて
バケツに水を貯め、ずぶ濡れになってみたり、築山にブルーシートを敷きウォータースライダー
を作ってみたり、地面に流れていく水で水路を作り葉っぱを流してみたり、子どもたちは水や
泥遊びを思いっきり満喫できました。まだまだ暑さは続きますので体調に配慮しながら夏の
あそびをもうしばらく楽しみたいと思います

主幹保育教諭 F

8月の下旬頃から、虫たちの鳴き声にも秋の訪れを感じるようになりました。子どもたちが
一生懸命に追いかけていたせみの声はいつの間にか小さくなり、最近では夜になると、
「りーん…りーん…」と綺麗な音色が聴こえてきます。
今年の夏は、昨年よりも随分と保護者の方に園の中の様子を知っていただく機会が増えました。
運動はっぴょう会や、ダンディタイム、かえでカフェ、敬老週間など、様々な行事にご参加
いただき、とても嬉しく思っています。“こんな行事もあるんだ”と初めてを楽しみながら参加
してくださる方や、“そうそう、これがかえで保育園”と懐かしい気持ちでいてくださる方も、
皆さんと一緒につくっていくことを、これからも大切にしていきたいです。
今年も幼児クラスのままごとコーナーには、まるで本物のようなアイスクリームセットが並んで
います。ワッフル生地のコーンや、味のバリエーション豊富なアイスクリーム、
どれもこれも、保護者の方々がひと針ずつ思いを込めて大切に作ってくださったものです。
季節が変わる度に「夏らしいことしたかな」「秋を感じることをしよう」と思うのですが、
保育園の中でも季節を感じられるようにと環境をつくっています。
風鈴の音で夏の空を思い浮かべたり、秋の風の匂いに季節の移り変わりを感じたり、
出来事としては記憶に残っていなかったとしても、四季の中で感じた経験は、きっと心に
積もっていくことと思います。これから少しずつ色づいていく秋を、子どもたちと見つけて
いくのが楽しみです。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

遠足やイベントが大好きで、朝5時頃から「もう起きる
時間ですよ～！」とみんなを起こす長男。覚えたての歌を
ノリノリで替え歌にする女子力高い長女。お迎えに行くとい
つてもご機嫌で来てくれる、まだまだ小さい次男。
三者三様の育ち方をし、よくケンカもするけど、お互いの
ことが好きな兄妹たち。いっぱい笑っている姿を見れて、
成長が少し寂しいなと感じることもあります。

めばえ・つぼみ・ひかり組 やすひろさん

かえで保育園に入りたくさんのことを吸収して
いるようで、成長している姿に驚いています。
最近のブームは、歌とおどり！
保育園で覚えたことを家で披露してくれます。

いぶき組 めぐみさん

お家でよく歌を口ずさんでいて、教えた事も
聞かせた事もないのに、上手に歌っている姿に
「保育園で歌っているんだなあー」と毎回ほっこり
しています。
次はどんなお歌を聞かせてくれるのかなあ～♡

ふたば組 わかなさん

言葉も増え、イヤイヤと強く主張したり、兄と遊んでも強気で
すぐにケンカ&ケンカ&ケンカには少し辟易してしまいます。
でも寝る前に「トントンして」と言いながら、かわいい声で
「〇〇ちゃんとおすなしたの」「〇〇せんせーとでんしゃ
したの」など園のことを沢山おしゃべりしてくれます。
中々寝ないのは困りますが私の大好きな時間です。
まだまだ「抱っこ！」の抱っこちゃんなので、よいしょ！っと
抱き上げブンブンを楽しむ毎日です。

つぼみ組 のぶこさん

だいちの次女は世話好きで、ふたばの部屋にやってきて、今春入園の長男の
お世話を焼いていると聞く。
もちろん先生方のお力が一番大きいのだけれども、次女のおかげもあったのか、
長男は割とすんなり園生活になじめたようで、親の言う事は聞かなくても
「しゅんしゅい」のいう事は素直に聞いているらしい。
毎日ぐずすることもなく登園し、共ににこにこ笑顔で出てくる二人を見ていると、
かえで保育園でたくさん愛され、遊び、学んでいるのだなと感じる。
よろこび掛け算かなしみ割り算という言葉を目にしたことがあるけれども、
きょうだいだけでなく園の仲間といろいろな経験を分かち合い成長して
くれればと願っている。

ふたば・だいち組 あきらさん

8月の子どもたちのようす



テラスにタライを準備し始めると、その姿に気が付いた子ども達がドアの前に集まり、毎日今か今かとワクワクしながら水遊び待っていてくれます。
手をパシャパシャしてしぶきをあげたり、タライの中からツノツノの玩具を取りだしたり、顔に水が掛かってもへっちゃらです。
水だけでなく、泡や氷など様々なものを触って楽しんでいます。



お部屋では、スイッチやビーズ、紐で遊べる新しい壁面玩具のビジーボードやチェーンの型落とし、紐やオーガンジーを缶から引っ張る遊びが人気です。
引っ張ったり、押したり、落としたり、手先や指先を使って楽しんでいます。



幼児さんからセミを貸してもらい、お部屋で初めて触ってみました。
鳴き声や羽の動きにびっくりしたり、じっと観察をしたり、気にせず手を伸ばしたり、追いかけたり、子どもたちそれぞれの反応が見られました。



寒天あそびをしました。プルプルした感触を人差し指で触れてみたり、両手で握ってみたりとそれぞれ感触を味わいながら遊びました。前日から冷蔵庫で冷やしていた為、冷たい状態で触れることができ、温度が次第に下がってくると赤色と青色が混ざり、紫色の寒天になりました。グラスやお皿に入れながら、混ぜていくことで、色が変わっていく様子も楽しめました。
これからも触感や音、匂い、味など五感を使いながら、様々な遊びをふたば組の一年を通して経験していきたいです。



とうもろこしの次は「オクラ」の栽培を開始しました。チクチクした葉っぱを指先でそっと触れてみたり、毎日水やりをしながら大切に育てています。先日おくらを1つ収穫しました。長細いオクラの形に興味津々な様子で、お部屋に入ってから、窓からオクラを眺めています。



<感触遊び>

片栗粉粘土をして遊びました。まずは、片栗粉そのままを触てみると「さらさらだね」と夢中になっていました。水を加えてみると、「クリームみたいになってる」と、片栗粉の感触が変化していくことに気が付き、感触遊びを楽しみました。



<はさみに挑戦>

ハサミを使うことにドキドキする子どもや、「やってみたい」と興味津々な子どもたち。長細い画用紙を1回切りで、切っていきます。はさみの向きや、力の入れ方が難しい中、黙々と集中して切る姿が見られました。





～だいちゃんみたいに作りたい～

アートコーナーで綿を発見。

綿を手に取り「綿あめみたい」と嬉しそうに友だちと話していたので、綿あめをつくることにしました。割りばしに綿を付けると本物のような綿あめが完成しました。だいちゃん組のかき氷屋さんに憧れていたいぶき組。「色をつける」と自分で絵の具を持ってきました。ピンク、紫、青とカラフルな綿あめができました。



みんなで読んでいる「ももいろのきりん」に登場する「キリカ」を作る「キリカ隊」が誕生しました。初めはKくん一人で始めたキリカ作りですが、やっているうちに「ぼくもいっしょにやろか?」「わたしもてつだう!」と少しずつ仲間が増えてきました。リボンでできた尻尾やクレヨンで描いた顔など、ストーリーに出てくる作り方を真似しながら、数人で協力しながら作っています。



たくさん実ったトマトを収穫しました。

沢山のトマトは藤森クッキングで大変身! 包丁で切ってお砂糖と一緒にコトコト煮ると、ツヤツヤのジャムができました。

食パンにつけてパクっ! 「甘くて美味しい～」と子どもたちにも大好評でした🍎



～思いっきり楽しもう～

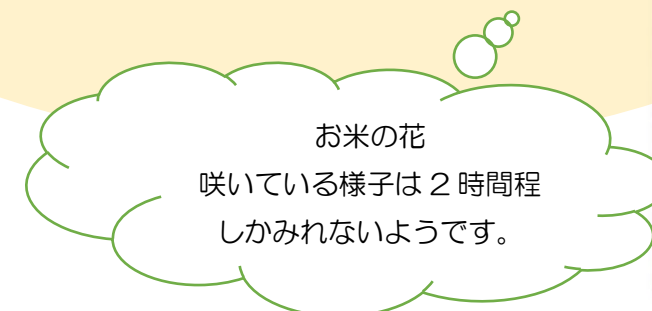
暑くなり、ダイナミックに水あそびを楽しんでいます。水の冷たさ、泥の感触を全身で感じています。また、築山にブルーシートを敷き水を流すスライダーや流しそうめんの竹を使った水路作りなど、夏の遊びを満喫しました。



～田んぼ～

5月に園庭で泥だらけになりながら大きくなりますように…と気持ちを込めて作った田んぼ。「土からからだ、水あげないと」「バケツいっぱい水入れてきて」と水遊びの延長で水路をつなげて水をあげています。

お米ができるまでの絵本を見つけて、田んぼができてからお米が実るまでの過程を写真で見ながら「このネットはなに?」「田んぼってこんなに大きいの」とお互いに感じたことを話し合っていました。協力し合う姿や不思議を一緒に分かち合うことも増え、考えたり些細なことでも気づきや先が見えると子ども達だけでも話が進んでいきます。「いつ食べれるようになるの?」「だいちゃんのぼうけんの日ぐらいかな」「何が一番おいしいかな」「一緒にカレー作りたい」とたくさん実ることを楽しみにしてすすめのエサにならないよう対策を考え中です。



お米の花
咲いている様子は2時間程
しかみれないようです。





～夏祭りごっこ～

先月の七夕祭りから子どもたちで廃材を使い、輪投げ遊びやボーリング遊びをお店屋さんのようにして遊ぶことが増えてきました。園庭では春から続いている叩きぞめや植物の色水づくり、井戸から流れる水を汲んで水路づくり、水を勢いよく掛けたり、涼しさを感じるために自ら全身水を掛けていたり夏ならではの遊びが様々な場所で広がっています。暑い日に涼しくなる方法はないかなと考え、足湯ならぬ『足水』を作ろうと園庭に咲いているローズマリーやミントを凍らして水につけると…ひんやり気持ちいい！水に濡らした方がいい匂いがするねと身体をたくさん動かした後に涼みながらのほっこり時間となり、それぞれの興味からいろいろなお店屋さんがはじまっています。



夏のうれしいプレゼントでスイカをいただきました。

いぶき、ひかり、だいちの子どもたちでスイカ割りを行いました。目隠しをした子どもたちや先生たちが友だちの声や拍手をたよりにえい！と竹の棒を振りかざしていきまじなかなか割れません。先生たちもお手伝いしましたがなかなか割れず・・・最後は卒園生のお兄さん・理事長先生。子どもたちの応援もより一層大きくなり「ぶん！」と振り下ろすと、割れたのはなんと…竹の棒でした。大爆笑のあと甘くておいしいスイカに子どもたちも大満足。

乳児さんにもスイカを届けてみんなでおいしくいただきました。



お台所から



今年も柳澤さんから頂いたじゃがいもと園で子ども達が育て収穫したじゃがいも使って肉じゃが、コロコロサラダ、フライドポテトとたくさんの献立に変身しました。玄関でじゃがいもを選んでいると「明日のごはんにするの？」、「こんなにたくさんのじゃがいもを使うの？」と興味津々で話しかけてきてくれる子がたくさんいました。普段使う食材の量を知る機会となり、子どもたちは驚いている様子でした。



8月3日 デラウェア

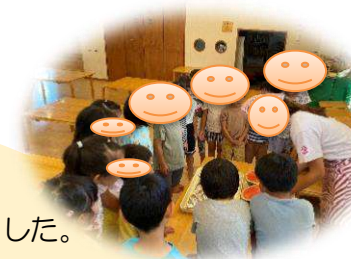
お昼ごはんに登場する「デラウェア」をつぼみさんのクラスに見てもらいました。デラウェアを見た途端、「知ってる！食べたことあるよ！」とみんな大喜び！

「デラウェアというぶどうの仲間だよ」と説明すると「デラウェア…デラウェア…」と唱えるように覚えようとしているようでした。お昼ご飯でも「さっきのぶどうだ！」と名前は少し忘れている様子でしたが、楽しんでたべてくれました。



8月9日 すいか

大きなすいかがおやつで登場し、だいちさんに切る様子を見てもらいました。とっても大きなすいかにみんな大興奮！「すごく大きいね！」、「名前をつける？」など愛着がわいている様子。いざ切ってみると、まっかな赤色がとってもきれいです。「甘そうで美味しそう」とたくさんの声が聞こえてきました。みんなで少しずつ味見をして、「おやつがたのしみー！」ととっても嬉しそうにしていました。旬の果物に触れることができて良かったです。



～9月の献立・予定している食育活動～

旬の食材として梨やかぼちゃを取り入れていきます。実際にお部屋に見せにいき食材に触れる機会を作っていきたいと思います。

また、幼児クラスが行っているお昼のバイキング形式が少し変わり、お皿に盛りつける作業がランチルームで行うようになります。まだまだ暑い日も続くため、衛生管理にも気を付けていきたいと思っています。

9月のあそびへの思い

めばえ

春、保育者と1対1での関わりを楽しんでいた子どもたち。最近では同じクラスのお友だちと顔を合わせて笑い合ったり、おかえりDAYでお手伝いに来てくれた中高生のお兄さん・お姉さんに遊んでもらったり、窓辺に来てくれた幼児さんに自分から笑顔で近づいていたり、子どもたちの世界が少しずつ広がっていることを感じます。

また、遊びや生活を通し「やってみたい!」「なんだろう?」が増え、気になるものをジーっと観察したり、一直線で向かったり、子どもたちそれぞれ個性豊かに楽しんでいます。9月はどんなものに興味関心が出てくるのか楽しみです。

ふたば

立秋をむかえ、陽ざしにはまだ夏の名残もありますが、日の長さも随分短くなってきました。先日、黄色と黄緑の絵の具を使いながら「とうもろこし」を表現したボディペイントを行いました。絵の具を身体につけたり、手で伸ばしたりと感触を味わいながら遊び、今までの栽培の様子の写真も貼り、「とうもろこし物語」を作りました。苗植えから、収穫、クッキングなど一つの物語の中に沢山の思い出が集まっています。遊びの中でも、子どもたちの想いや心が揺れ動く瞬間があります。毎日の中で、子どもたちのキラキラした瞬間をこれからも見つけていきたいです。そして保育室に入った際はぜひ、「とうもろこし物語」をご覧ください。

つぼみ

少しずつ朝夕が涼しくなり、秋が近くまでやってきています。先日、夏のあそびとして楽しめた魚釣りのおもちゃで遊んでいると、1つしかない竿をみんなが使いたい中、「貸して」「いいよ」「待っててね」と、遊びたい気持ちを少し我慢して、友だちと共有して遊ぶ姿がみられます。竿で魚を釣ることができたら、周りの見ていた友だちも「やったね」「お魚とれたね」と、共に喜びを分かち合う姿が見られました。こうして友だちや保育者とのやりとりを楽しみ、友だちの輪が自然と広がっていくのだと感じ、嬉しく思いました。来月も、季節の遊びを取り入れていきながら、友だちや保育者とのやりとりを楽しめるようにしていきたいです。

いぶき

子ども達の額に汗がにじむ夏も、気付けば9月になりました。8月の園庭では、色水作りや水路作りなど友だちと試行錯誤しながら取り組んだり、顔や全身が濡れるほど思いっきり水あそびを楽しみました。異年齢で過ごす中で、年上の友だちの姿からたくさん刺激をもらい、自分たちで考えながら遊びこむ姿も増えてきました。「やってみたい」「こうしたらどうなるのかな」などの思いが友だちと通じ合ったとき、遊びがどんどん広がっていきます。子ども達のアイデアがおもしろく、「なるほどなぁ」と驚かされることもたくさんあります。子ども達のアイデアや言葉を大切に、一緒に遊びを深めていきたいと思います。

ひかり

5月に苗を植えたトマトが沢山の実をつけ、みんなでおいしく食べることができました。毎日少しずつ大きくなる様子を観察したり、大きくなることを祈って看板を作ったりしてトマトの成長を子どもたちと一緒に見守り、共に喜ぶことができました。また、収穫したトマトをひかり組で食べた時に「だいちさんとか、いぶきさんにもあげたいね」「〇〇先生まだ食べてないよね」という呟きがありました。自分たちだけ食べるのではなく、かえで保育園のみんなに分けてあげようとする思いやりの心が育っているところにほっこりしました。また、食べられなかった部分にあった種を集めて、もう一度育ててみよう!というプロジェクトも始まりました。ひかり組のトマトストーリーはどのように続くのか楽しみです。

だいち

セミの鳴き声が徐々に落ちつきはじめ「動いているセミは怖いけど、止まっているセミなら…」と指先で触って確認しながら静かに止まっているセミのお腹をじっと観察しています。7月下旬頃、さなぎから成虫に育ったカブトムシのお世話も毎朝の習慣となってきました。ひかり組の頃は図鑑で調べ準備をしていましたが、今ではお世話をしていたことを思い出しながら「カブトムシ隊行ってきます」と友だちと声を掛け合いながらカブトムシの成長を見守っています。

はまかぜ

水あそびのあと、自分の服が泥まみれになっていると「あらいたい」と言っただいちの子どもたちはたらいにはった水で洗濯をします。しぼった服をテラスに干し、乾いた服をかばんに片付けるまでが日課となりました。「きれいになった」「ここ、まだよごれてた」「パリパリにかわいてる」思い思いの気持ちを嬉しいそうに話しています。そんなだいちの姿をみて今ではひかりの子どもたちも行っています。ある日、新しい下駄の片付け方をだいちの子どもがいぶきに教えてあげる姿が見られました。「こうやってならべてきれいにするねん」遊び方だけでなく、片付け方もこうして伝わっていきます。片付けることは物を大切に使うことにもつながっていきます。おもちゃや物が壊れたり、なくなった時も子ども達と一緒にどうしたら壊れないようになるのか、壊れたものはどうしていくのか、なくならないようになるのを考えていきます。これからも「物を大切にする」ということを一緒に考えていきたいと思います。

